

---

# ハミダシモノ

神海 優

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ハミダシモノ

### 【Nコード】

N3329V

### 【作者名】

神海 優

### 【あらすじ】

最後にみんなで、さ。

それは彼らが最も望むこと。

主人公 石垣早理の一言から始まった彼らの馬鹿で、愚かで、まっすぐな青春。

## No. 1

1、2、3…。

癖になった脳内の遊び。誰も知らない、僕だけに見えるカウンター。自分と同じ制服の人間を基準に従って数え、簡易的なスイッチを押す。

15、16、17…。

「（昨日より、多いな）」

いい加減嫌になってくる。

大体にしてなんでこんな面倒なことをしているんだろう。

「（馬鹿らしい）」

いつそ漫画みたいに、みんな消えちゃえばいいのに。

「（誰もいない世界かあ）」

それもいいかも、一人笑う僕はさぞかし気持ち悪かっただろう。

2

「はよっす！そつりー！」

「うん、おはよ」

おいおい、ただの男子生徒が肩に手を置いてきた。

「相変わらず暗いなーお前」

「あはは」

ごめんね。

普通の挨拶。普通の会話。そして「普通」の学校生活。不本意ながら僕はそこに存在し、生きている。

私立人道学園、もっともらしい名前のこの学園は、社会のためにだけ存在している人間の飼育所ではない。僕が愛すべき学園に抱く

のは、

世に蔓延る虫ほどの憎悪と  
ミジンコほどの哀れみだけ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3329v/>

---

ハミダシモノ

2011年11月16日19時07分発行